

【株式会社スペース×大阪工業大学】

身近なスーパーマーケットを題材に産学連携の演習を共同で実施

講評会を開催し、最優秀賞が決定

概要

株式会社スペース（代表取締役社長：佐々木靖浩）と大阪工業大学（学長：益山新樹）空間デザイン学科は共同でインテリア分野のPBL（課題解決型学習）授業を9月に実施し、10月1日に講評会を行いました。同授業を履修した23人の学生ら（3年）は、課題テーマ「日常を拓げる」スーパーマーケット空間とは？について提案を行いました。本授業は実践的な演習を通して、空間づくりの基礎を学生に学んでもらい、課題発見能力育成の支援や課題を解決するためのプランニング力育成の支援、さらには空間デザイン、インテリアデザインなどを行う高度なプロフェッショナル人材の養成を目的としています。

内容

この取り組みは本年度で2回目となり、株式会社スペースと大阪工業大学がタッグを組むことで双方にとってプラスとなると考えたことから、合同演習が始まりました。10月1日の講評会では、学生のプレゼンテーションを教員と社員が講評し、最優秀賞を決定しました。本演習は地域と密着した日常に無くてはならない空間である複合型商業施設の最新実例を通して、空間づくりを行う上での大切な視点を養う機会となりました。

最優秀賞の概要

氏名：濱田朋佳（ハマダトモカ・3年）

作品名：旅先の日常

コンセプト：海外からの観光客が多い京都に、「非日常的な」旅行の目的で京都に来た人を、まるで日本に住んでいるような気持ちにさせる場所をつくる。スーパーマーケットで買い物をし、キッチンで料理を作る。テーブルで食事をし、寝る。そんな日常を送ることができるスーパーマーケット×ホテルを提案する。

コメント：旅行という非日常的なことで訪れた街で、その場所の日常を体験できる空間があればと思いスーパーマーケット×ホテルを提案しました。本作品制作にあたり身近な街のスーパーマーケットを訪れたところ、その場を利用する人のための工夫が多く詰まっていることに気がつきました。今後デザインを行う際には、身近な空間からヒントを得るほか、利用者視点から課題の本質や解決策を考え自分の作品に落とし込むことで作品のリアリティを高めていきたいと思えます。



最優秀賞を受賞した濱田さん

審査員 株式会社スペースからのコメント

本演習のテーマである「日常」をどのように捉え、未来へどう拓げられるのか？に着目し、選ばせていただきました。「日常」の中の課題に気づき考えられるようになることで、その場に行き来する「人」、暮らす「人」、また訪れる「人」の行動を考え、地域に寄り添った空間を創造できる「人」になってほしいと思えます。今回の演習参加を通して、学生たちの成長を授業を追うごとに感じました。同時に授業の大切さも改めて実感し、空間づくりを行う企業としてこれからの空間づくりを担う学生たちを育成することの意義も再認識いたしました。

株式会社スペースについて

空間の可能性を追求し、お客様の課題はもちろんその先の社会の課題を解決に導くことで、「世の中を、希望にあふれた空間にする。」ことを目指しています。

事業内容：商業施設・文化施設・娯楽施設・イベント空間の企画・コンサルティング・設計・監理および施工

URL：<https://www.space-tokyo.co.jp/>

大阪工業大学について

大阪工業大学は、工学部、ロボティクス&デザイン工学部、情報科学部、知的財産学部を設置し、「現場で活躍できる専門職業人の育成」という建学の精神のもと、時代の要請に合わせた教育・研究を展開しています。2021年3月卒業生の実就職率は95.3%で全国第4位（卒業生数1,000人以上）の実績を誇ります。

大学名：大阪工業大学

所在地：【大宮キャンパス】大阪市旭区大宮5丁目16-1

【梅田キャンパス】大阪市北区茶屋町1-45

【枚方キャンパス】大阪府枚方市北山1丁目79-1

TEL：06-6954-4097（代表）

URL：<https://www.oit.ac.jp/>

本件発信部署・取材のお申込み先

■株式会社スペース 広報部（担当：坂上、多賀）

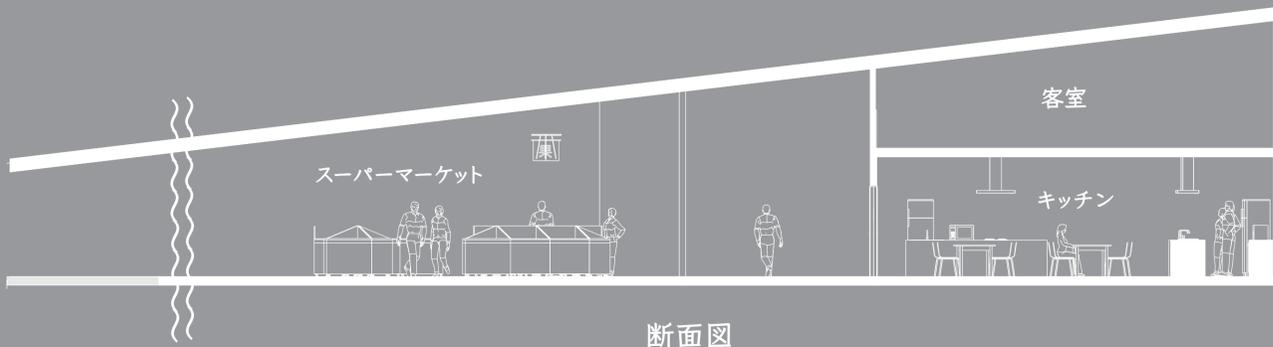
TEL：03-3669-4008 / MAIL:kouhou@space-tokyo.co.jp

■学校法人常翔学園 広報室（担当：田中、上田）

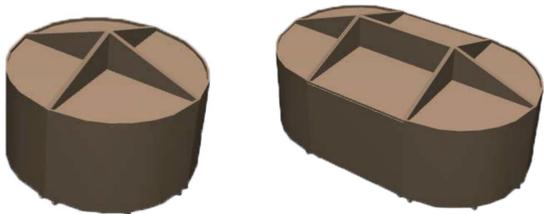
TEL:06-6167-6208 携帯:090-3038-9887

旅先の日常

海外からの観光客が多い京都に、「非日常的な」旅行の目的で京都に来た人を、まるで日本に住んでいるような気持ちにさせる場所をつくる。スーパーマーケットで買い物をし、キッチンで料理を作る。テーブルで食事をし、寝る。そんな日常を送ることができるスーパーマーケット×ホテルを提案する。

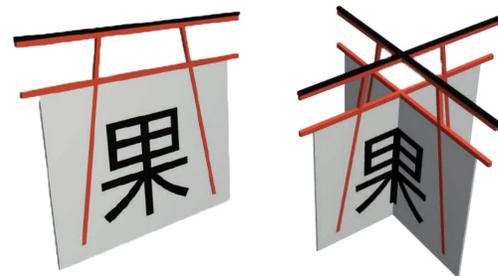


陳列棚



それぞれの棚にキャスターが付いているので、1/4の円と長方形の2種類の形を自由に組み合わせることができる。商品に合わせた陳列が可能になる。

案内板



店舗に初めて来る人が多いので、店内どこからでも読める大きな看板を吊り下げる。日本語と英語で表記をする。想定場所の京都に深く馴染みがある鳥居のデザインを用いる。

商品



味噌汁1回分のお味噌。お湯をかけると味噌汁1杯分になる味噌玉。様々な味を用意し、キャンディーのように包装する。

キッチン



調味料がアメニティで付く。同じ時間帯の利用者同士のコミュニケーションを狙い、1部屋に4セットのキッチンとテーブルを設置する。